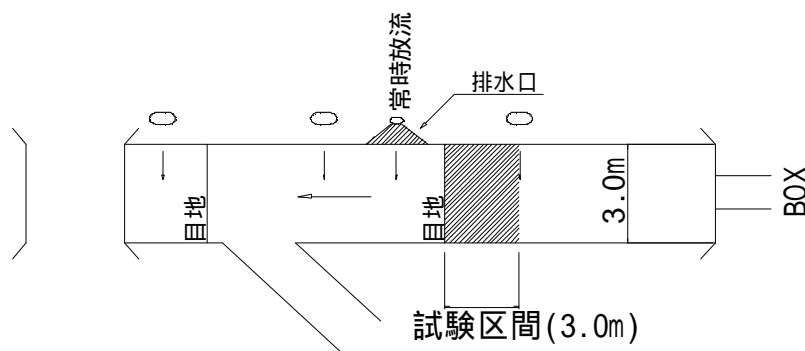


(水路への散布)

2005年3月10日(木)10:00~11:00

(1) 作業目的

水路内へ雑排水等が流れ込み、ヘドロが堆積した状況にある。このヘドロが、近隣住民への臭気苦情、水質悪化など環境に対して負の影響を及ぼしている。このヘドロが堆積した水路の水質・臭気改善を目的とする。



(2) 作業範囲, 施工量

作業範囲は、水路幅 3.0m × 延長 3.0m = 9.0 m² で実施する。施工量については、現地状況を勘案して 1 m² に対して 800 g を散布する。(使用量 = 9.0 m² × 0.8kg = 8.0kg 排水口へは、バイオリキッド(80mL + 希釈水 4L) 散布する。

(3) 散布作業方法

当該対策区間については、施工範囲が小さいため人力散布を行う。なお、施工条件に最も適した固形タイプのバイオコローを散布する。排水口は、液状タイプのバイオリキッドを人力散布する。

(4) 現地調査, 追跡調査

第1回目 0時間後(散布前) 03/10

第2回目 1週間後 03/17

水路底は、特に変化が見られない。排水口は、部分的に黒色のヘドロが分解されている状態である。現時点での臭気は、全体的に広がって悪化しており特に改善が見られない。

第3回目 2週間後 03/24

水路底は、部分的に若干ヘドロが浄化された。排水口は、1週目と同じ程度の状態である。臭気は全体的に広がって悪化しており、特に改善が見られない。

第4回目 3週間後 03/30

水路底は、部分的に若干ヘドロが浄化された。排水口は、2週目より改善されたように見える。臭気はヘドロの浄化箇所は改善された。現時点では、若干の効果が出てきた状態と言える。

第5回目 4週間後 04/02, 04/06

水路底は、汚水、汚泥流入量が増えたのか黒色部分で覆われていた。排水口は、03/30と同程度に見える。臭気がかなりしている状態となっていた。現時点での臭気は、3月時点に戻った状態である。

第6回目 5週間後 04/12, 04/15

水路底を覆っていた黒色部分がかなり分解されていた。下流側の深い部分についても、分解が進んでいるが、これはヘドロが下流側に移動した際に菌も移動したものである。排水口は、03/30と同程度に見える。臭気がかなり抑えられた状態となった。現時点では、かなり効果が出た感じである。

第7回目 6週間後 04/20, 04/25

散布した部分は、水路底を覆っていた黒色部分がかなり分解されていた。上下流部分(未散布)については、ヘドロが堆積してきた。排水口は、04/20時点ではかなり改善されたように見えたが、04/25時点では、また黒色のヘドロが張り付いてきた。ただし、上下流部分の未散布箇所については、酷い臭気がするようになった。



05/04/20



05/03/10